

2016年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	＜町田市立国際版画美術館 2015年度 講座受講生作品展＞私たちのステップ・ワン＝講座受講生と講師による小さな展覧会				
出展者	2015年度創作講座受講生23名 および銅版画講師(岡さなえ氏)、木版画講師(内山良子氏)		担当者名	普及係 渡辺利江	
開催日・時間	2016年5月24日(火)～29日(日) 10:00～17:00 ※初日13:30から、最終日16:00まで		場所	市民展示室B	
入場方法	会場へ直接来場		入場者対象	どなたでも	
入場者数	実績	定員	市民率	応募者数	当選倍率(受講歴による調整を実施)
	342名	—	—	—	—
事業概要	2015年度に当館が開催した創作講座銅版画、創作講座木版画において受講生が制作した作品を展示し、その成果を発表する。あわせて講師(銅版画:岡さなえ氏、木版画:内山良子氏)の作品、版画一日教室参加者の作品、版画制作の道具やプロセスの説明パネル、技法ごとの作例など制作に関する資料等も展示した。入場者342名。出品者25名。出品点数47点(詳細後述)				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	受講生には、講座で制作した作品を額装し、展示することによって、作品を発表することの意味を理解し、その経験をしてもらう。来場者には、受講生や講師の作品を鑑賞してもらうと同時に、当館の版画制作のための施設(版画工房、アトリエ)および普及事業をひろく知っていただく。また、版画の道具、材料、制作のプロセスなどを展示することで版画に対する理解を深めてもらう。				
主な収入	入場無料。 出品無料。(ただし額装に関わる経費は個人負担)			その他の特定財源	
				0 円	
事業経費	<p>●消耗品費 3千円 ＜内訳＞ ①案内はがき用紙(250枚) 853円 ②チラシ用色上質紙(1000枚) 1,254円</p> <p>●人件費 5千円 ＜内訳＞ ①講師出品謝礼(2,500円×2名) 5,000円</p> <p style="text-align: right;">合計:8千円</p>				
主な広報・取材等	<p>＜広報＞ 案内ハガキ、案内チラシ、広報まちだ、版画美術館HP、生涯学習ナビ ＜取材＞ タウン紙『ショッパー』5月20日号「みんなの広場」に情報掲載</p>				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率	回答した市外者率	満足度
	161 件	47 %	48 %	46 %	85 %
	主なご意見	別紙のとおり。			
反省点と改善方法	予備調査	前回とほぼ同じ内容の展覧会としたため、予備調査は実施しなかった。			
	参加依頼	講座期間中に説明の時間を設け、受講生に参加を呼びかけた。銅版画講座は2015年12月に終了しているため、2016年3月に参加案内を郵送した。銅版画講座修了生15名中13名、木版画講座修了生13名中10名が参加した。			
	準備	3月に参加要項を受講生に配布。4月13日(水)午後アトリエにて受講生とともに準備会を開催。出品作品数の調査や係の分担等をおこなった。その後各方面への広報活動、キャプション・パネルの制作等を経て5月21日作品搬入。			
	広報	ほぼ例年並みの入場者だった。適切であったと考えられる。作品展のタイトルが長く、外部メディアで取り上げていただく際に混乱が生じた。またこれまでは講座の実施年度(今回は「2015年度」)を表記してきたが、展覧会の開催年と食い違うため誤解も生じている。次回開催にあたってはこれらの点について十分検討したい。			
	出品状況	出品点数47点 ＜内訳＞銅版画受講生(13名)26点、木版画受講生(10名)17点、銅版画講師3点、木版画講師1点			
	会場設営	初日の9:30～12:00に展示作業をおこなった。講師の作品を中心に、周囲の壁面に受講生の作品を展示し、会場中央にケースを3台使用して版画の技法に関する道具や作例の展示をおこなった。展示作業には受講生2名が参加した。			
	当日進行	会場係2名(出品者)が会場で受付をおこなった。会場内の監視(常時1名)を「まちだサポーターズ(町田市ボランティア)」に依頼した。会期中のべ11名が活動した。			
その他特記事項	多くの受講生が参加し、出品作品数も多く、立派な展覧会が開催できた。展示作品は力作が多く、大変好評であった。(アンケート参照) 版画技法の解説の展示や作例が好評であった。(アンケート参照) 今後の事業展開の参考にしたい。				

町田市立国際版画美術館 2015年度講座受講生作品展

2016年5/24(火)～29(日) 会場:町田市立国際版画美術館市民展示室B



普及係職員と受講生(2名)で会期初日の午前中に展示作業をおこなった。



入り口では受講生が受付をおこなった。



展示の様子。壁面に、講座ごとに受講生の作品を展示した。



講師の先生から作品を借用し、展示した。



展示室中央にガラスケースを置き、一日教室受講生作品、版画の道具、制作のプロセスの解説、作例等を展示した。大変好評であった。(アンケート参照)



ケース内。このケースでは銅版画の技法についての解説と制作の道具、一日教室の受講生作品を展示。他のケースで木版画、リトグラフについて同様の展示をした。



まちだサポーターズのボランティアに場内の監視を依頼した。のべ11名が活動した。

◆2015年度 講座受講生作品展 アンケート 集計◆

実施日： 2016年5/24(火)～5/29(日)
来場者 342名 回答数 161名

1. この展覧会(講座受講生作品展)を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

① 版画美術館のホームページ	7
② 「広報まちだ」	20
③ 町田市メール配信サービス	0
④ 出品者から直接	58
⑤ チラシ	3
⑥ 受講生作品展案内はがき	3
⑦ 来館して知った	58
⑧ その他	24
無回答	3

チラシ入手場所： 当館(1)、横浜美術館(1)、鶴川支所(1)

その他： 出品者本人(4)、出品者の家族・知人から(3)、とおりがかり(3)
市民展示室A室で(2)、知人から(2)、インターネット(2)、ショッパー

2. 作品展をご覧になった感想をお聞かせください。

① 非常に満足 ② 満足 ③ ふつう ④ やや不満 ⑤ 不満 ○無回答

3. 展示内容は良かったと思いますか？

① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない ○無回答

4. 展示の仕方(作品の並べ方や高さ、掲示物)はご覧になりやすかったですか？

① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない ○無回答

5. 展示室の環境(明るさ、静けさなど)は良かったと思いますか？

① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない ○無回答

6. 今後、当館で受講してみたい講座がありましたら、お答えください。(複数回答可)

① 創作講座 銅版画 ② 創作講座 木版画 ③ 創作講座 リトグラフ ④ 創作講座 スクリーンプリン ⑤ 創作講座 その他

⑥ 一日教室 銅版画 ⑦ 一日教室 木版画 ⑧ 一日教室 リトグラフ ⑨ 一日教室 スクリーンプリン ⑩ 一日教室 その他

性別

① 男性 ② 女性 ○ 無回答

年齢

① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代

⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳代 ○ 無回答

居住地

① 町田市内 ② その他 ○ 無回答

その他(74)内訳

横浜(17) 相模原(15) 八王子(4) 座間(4) 川崎(3) 厚木(3)
大田区(2) 国分寺(2) 大和(2) 藤沢(2) 茅ヶ崎(2) 軽井沢町(2)
東京都(1) 品川区(1) 武蔵野市(1) 三鷹市(1) 秦野市(1) 越谷市(1) 名古屋(1)

感想、意見など

●多かった意見

レベルが高く刺激された。
一般の方とは思えないほど完成度が高かった。
素晴らしかった。
制作方法の展示がとても興味深い。
いつか受講してみたい。

◆出品作品について

いろいろなテーマがあって面白かった。
額装されると作品として完成した感じになる。
タイトルと作品の関連がわかりにくいものがある。
作品に引き込まれた。
皆さんよく根気良く頑張った。

作品が個性に富んでいた。
苦勞した点など、コメントがあるととっても良かった。
どの作品も丁寧に作られていた。
心が安らぐ作品があった。

◆展示方法について

作品間のスペースがもっと広いほうが多少見やすい。
照明が明るすぎる。
全体的に明るくて鑑賞しやすかった。
額装がきれいで観やすかった。
音楽があっても良い。
とびらのところは気の毒。
もう少し数があればよかった。
作者からのひと言が欲しい。
キャプションの銅版技法の文字が小さく読みづらい。

◆参考出品について

作品の作り方コーナーは良かった。
ケース内の展示で版画の技法について学ぶことができた。
道具の展示で、どのような用途なのか少しコメントがあると良い。
一日教室でここまでできるのかと思った。
版画の専門用語（たとえば「版を分ける」など）も解説してもらえると良い。
1日教室の作品を観て、1日でも完成するのかと驚いた。
説明がわかりやすかった。

◆講座について

10回ではなく1,2,3年の講座があれば参加したい。
抽選に当たりづらい。

◆その他

木版画、銅版画等が身近に鑑賞できてよかった。
木版画と銅版画が同時に楽しめた。
このような市民参加の企画がもっと実現すれば文化・芸術がより身近で日常的なものになると思う。
勉強になった。
絵として良いかは疑問、版画もマチエールが必要、絵は詩が必要。
日本的文化をおおいに広めていただきたい。
在住の自治体には美術館がないので、町田市はいいですね。